

## 主題：キリストのからだの実際

メッセージ 12

キリスト・イエスの心の中で生きることによって、  
キリストのからだの実際を生きる

聖書：エペソ 1:22-23、3:16-17 前半、19 後半、4:16、ピリピ 1:8

- I. わたしたちはキリストのからだの実際を持ちたいなら、キリストにわたしたちの心の中に、ご自身のホームを造っていただかなければなりません——エペソ 1:22-23、3:17 前半、4:16：
- A. キリストのからだは、その霊としてのキリストによって建造されます。彼はわたしたちの霊の中に入り、ご自身をわたしたちの霊から思い、感情、意志へと拡大して、わたしたちの全存在を占有します——3:16-17 前半、4:16。
  - B. キリストのからだの実際は、内住のキリストの内なる経験です——コロサイ 1:27、2:19、3:4、10-11、15-16、4:15-16。
    - 1. キリストのからだを建造するかぎとなる要因は、内住のキリストの内なる経験です——エペソ 3:17 前半、4:16。
    - 2. わたしたちがキリストのからだの実際を持つことができるのは、命としてのキリストの内なる経験によってのみです——コロサイ 1:27、3:4、10-11、2:19。
  - C. キリストがわたしたちの心の中に、ご自身のホームを造られるとき、わたしたちは満たされて、神の全豊満へと至ります。この豊満は召会、キリストのからだ、三一の神の団体的表現です——エペソ 3:17 前半、19 後半。
    - 1. キリストのからだは、無限のキリストの無限の表現です——1:22-23、3:8、18、4:10。
    - 2. キリストにわたしたちの心の中に、ご自身のホームを造っていただくなら、わたしたちは三一の神で満たされ、彼の表現になります——エペソ 3:17 前半、19 後半。
    - 3. 真のからだの生活は、計り知れないキリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造られることの結果です——エペソ 3:17-18、4:16。
  - D. キリストのからだである召会の内容は、キリストです。彼はわたしたちの存在へと造り込まれました——ガラテヤ 1:15-16、2:20、4:19、コロサイ 3:4、10-11。
  - E. キリストがわたしたちの内なる存在を占有すればするほど、ますますわたしたちは、からだの中で他の人と共に建造されるようになります——エペソ 2:21-22、4:16。
- II. わたしたちがキリストのからだの実際を生きたいなら、わたしたちはキリスト・イエスの心の中で生きなければなりません——ピリピ 1:8、エペソ 4:16：
- A. 人として、キリストはさまざまな機能を伴う人の心を持っていました。キリストの心の中の経験は、彼の思い、感情、意志、魂、心、霊の中の彼の経験であり、彼の愛、願い、感覚、思想、決定、動機、意図を含んでいました——ルカ 2:49、ヨハネ 2:17、

マタイ 26:39、イザヤ 53:12、42:4、マルコ 2:8。

- B. パウロはキリストの心の中でキリストを絶えず経験した人でした——ピリピ 2:5、  
I コリント 2:16 後半、ローマ 8:6。
1. パウロはキリストの心の中で、すなわち、彼の愛情、優しいあわれみ、同情の中でさえキリストと一でした。
  2. パウロは自分自身の心を保たず、キリストの心を自分のものとししました。
    - a. 彼はキリストの思いだけでなく、キリスト内なる存在すべてを取りました。
    - b. パウロの内なる存在は変えられ、再案配され、再構築されました。
    - c. パウロの内なる存在はキリストの心で再構成されました。
  3. 真実、すなわち、誠実、信実、信頼としてのキリストの中にあつたものは、パウロの中にもありました——II コリント 11:10。
  4. 聖徒たちに対するパウロの愛は自分の天然の愛ではなく、キリストの中にある愛、すなわち、キリストの愛です。ですから、パウロは自分の天然の愛によってではなく、キリストの愛によって聖徒たちを愛しました——I コリント 16:24。
- C. キリストを生きることは、わたしたちがキリスト・イエスの心の中にとどまることを要求します。——ピリピ 1:21.前半, 8
1. パウロはキリストの心を経験しました。彼は聖徒たちを恋慕うことで、キリストの心の中でキリストと一でした——8 節。
  2. パウロは自分の天然の内なる存在の中で生活しませんでした。彼はキリストの心の中で生活しました。——コロサイ 3:12。
  3. わたしたちはキリストの中にある者であるなら、キリストの心、すなわち、彼の優しい、繊細な感覚の中にいなければなりません——ヨハネ 15:4 前半。
  4. キリストを生きるとは、彼の心の中に住み、そこで彼を恵みとして享受することです——ピリピ 1:7. 4:23。
- D. ピレモンへの手紙において、わたしたちはキリスト・イエスの心の中で生きたからだの生活の絵を持ちます——7 節, 12, 20 :
1. 心は、内なる愛情、情け深さ、同情を表徴します——ピリピ 1:8. 2:1. コロサイ 3:12。
  2. パウロの内なる愛情と同情はオネシモと共にピレモンの所に行きました——ピレモン 12。
- E. パウロは、キリストの感覚を自分の感覚とすることによってキリストのからだの実際の中を生きました。からだに対するキリストの感覚は、からだに対する彼の感覚となりました——ピリピ 1:8。
1. パウロはキリストのからだを顧慮することにおいて、キリスト・イエスの心を自分自身の心とししました——8 節。
  2. パウロのように、わたしたちはかしの感覚を自分の感覚とすべきです。これは、わたしたちがからだの生活を生きるために最も必要なことです——2:1. コロサイ 3:12。
- E. パウロはキリストの感情を自分の感情とすることによってキリストのからだの実際の中を生きました。からだに対するキリストの感情は、からだに対する彼の感情となりました——ピリピ 1:8。

1. パウロはキリストのからだを顧慮することにおいて、キリスト・イエスの心を自分自身の心としました—— 8 節。
  2. パウロのように、わたしたちはかしの感情を自分の感情とすべきです。これは、わたしたちがからだの生活を生きるために最も必要なことです—— 2:1. コロサイ 3:12。
- F. わたしたちは肢体としてすべてのことにおいてかしの感覚を持っているなら、からだを考慮し、からだを顧慮します—— I コリント 12:12-27。
1. わたしたちは自分自身を否んで、からだと一体化するなら、からだからの分離や、断絶はありません。わたしたちが生きる生活は全くからだの生活であり、主は今日、地上でご自身の表現を得られます——マタイ 16:24. エペソ 4:16。
  2. わたしたちはキリスト・イエスの心の中で生きれば生きるほど、ますますわたしたちのキリストのからだの意識は大きく、キリストのからだに対する感覚は強くなります—— I コリント 12:26-27. ローマ 12:15。